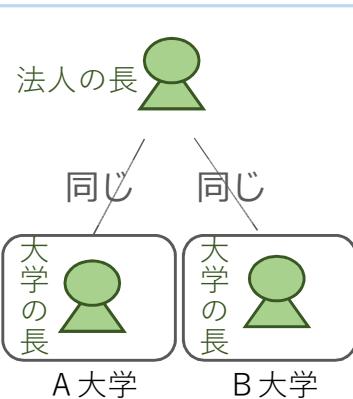
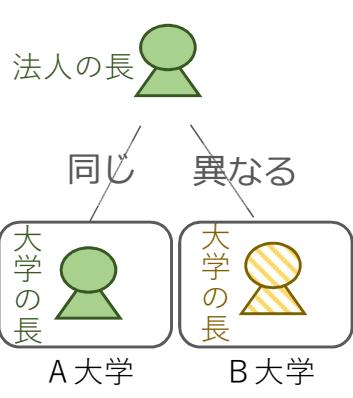
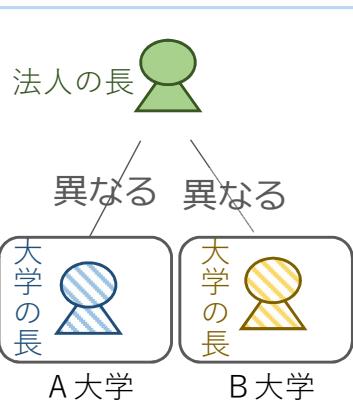


形態

各国立大学法人の判断でどの形態も選択可能



役割分担



【法人の長】

法人全体の資源の配分や成果の最大化を任務。
法人全体に対して監督責任を負う。

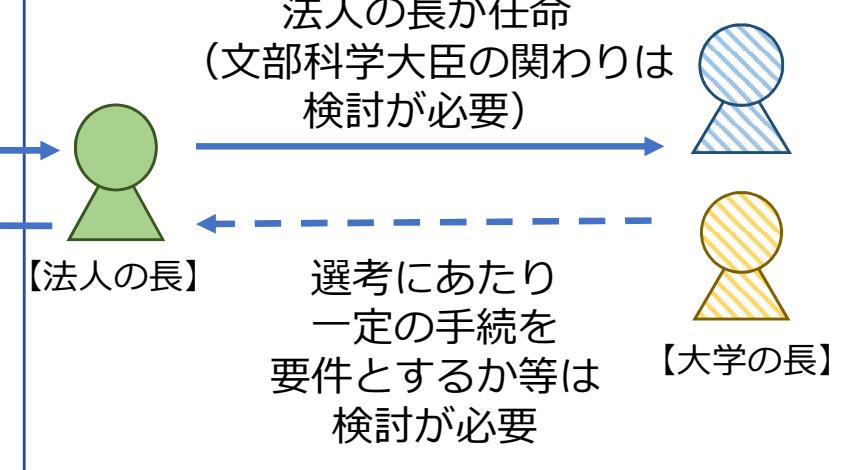


【大学の長】

法人の経営方針に従いつつ、大学における教育研究の実施体制、カリキュラムの編成、学生の管理等、大学の自主的な運営を行う一定の権限と裁量を持つ一方、法人の長に対し責任を負う。

任命手続き

国立大学法人



学長選考会議の選考による

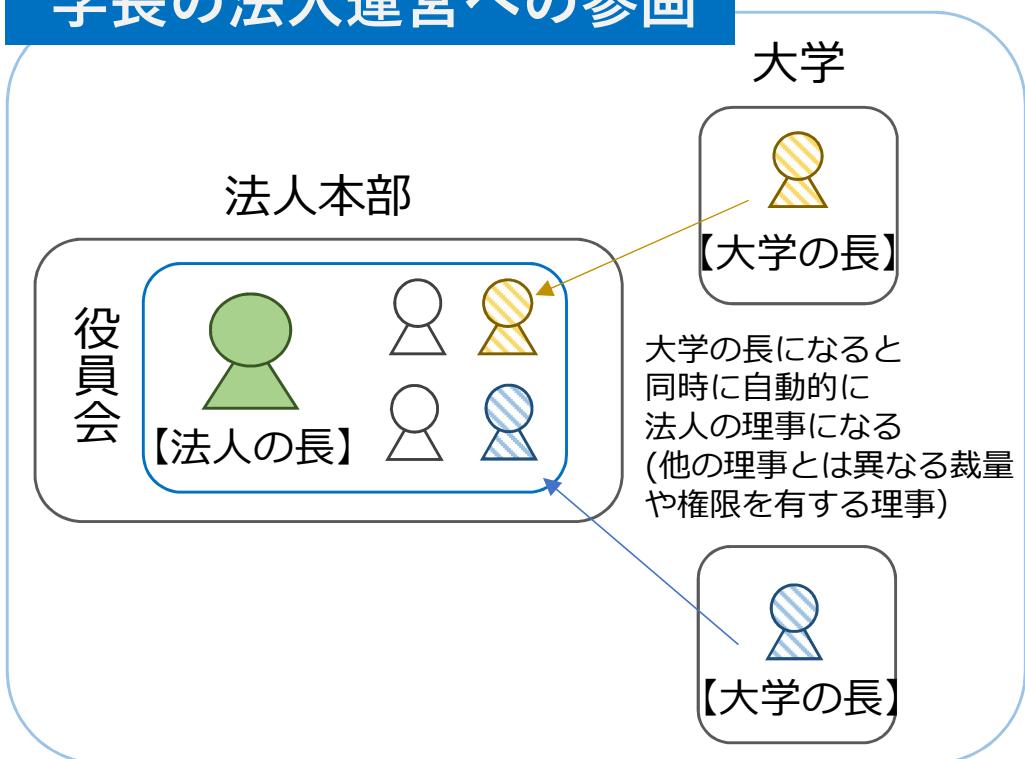
平成30年12月19日
国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議（第6回）配布資料②

共有する仕組みは措置すべき
経営と教学の方向性を

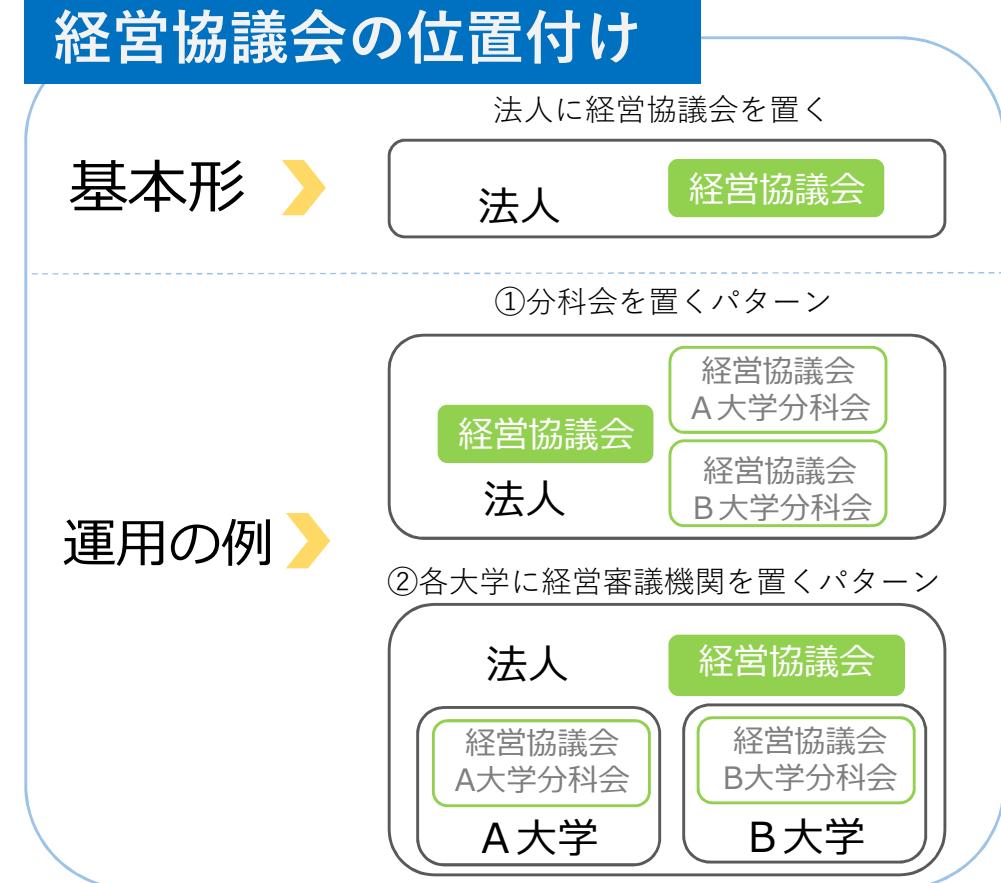
※解任も同様の手続

◆これまでの会議の議論をまとめたイメージ②◆

学長の法人運営への参画



経営協議会の位置付け



教育研究評議会の位置付け

基本形 >

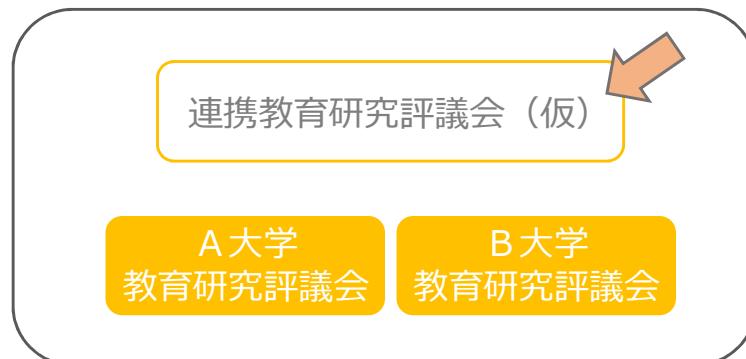
法人に大学毎に当該大学の
教育研究に関する重要事項を審議する
教育研究評議会を置く



- ✓ 各大学の教育研究評議会の議長は各大学の長
- ✓ 法人の長は各大学の教育研究評議会の構成員となる

運用の例 >

両大学の教育研究評議会の調整機関を置く。



◆これまでの会議の議論をまとめたイメージ③◆

※設置する大学の長が全て法人の長と異なる場合

